

飲み薬の効果や服用方法について、種類別にご紹介します。（当院の院内・院外採用薬のみ掲載）
飲み薬は大きく分けて8種類あり、状態に合わせて使い分けられています。

インスリンの効きをよくする薬

メトグルコ (メホルミン)



主に肝臓で、
糖が作り出される
のを抑えます。

通常1日2～3回
食直前または食後

※ 検査等でヨード造影剤を使用する時は、
原則として検査の2日前から2日後までの間
はお休みが必要です。（緊急の場合を除く）

インスリンの効きをよくする薬

アクトス (ピオグリタゾン)



通常1日1回

朝食前または
朝食後

筋肉や肝臓でのインスリンの
効き目を改善します。

インスリンの分泌を促す薬

オイグルコン (グリベンクラミド)



グリミクロン (グリクラジド)



グリミクロンHA (グリクラジド)



アマリール (グリメピリド)



すい臓を刺激して、インスリンの分泌を促します。
空腹時や食後の血糖を改善します。

通常1日1回～2回
食前または食後

インスリンの分泌を促す薬

シュアポスト (レバグリニド)



すい臓を刺激して、
速やかにインスリンの
分泌を促します。
食後の高血糖を
改善します。

通常1日3回
毎食直前(10分以内)

※食事の30分以上前に飲んでしまうと、
食事開始までの間に低血糖を起こす
可能性があるため、必ず直前に飲みましょう。
(食後に飲むと正しく効果が発揮されません。)

インスリンの分泌を促す薬

リベルサス (セマグルチド)



GLP-1というホルモン
に似た作用を持ち、
すい臓からインスリンを
分泌させます。
空腹時や食後の
血糖を改善します。

通常1日1回
空腹時

※1日の最初の飲食の前に
約120mLの水で内服、30分飲食不可

インスリンの分泌を促す薬

ジャヌビア (シタグリブチン) 	グラクティブ (シタグリブチン) 	ネシーナ (アログリブチン) 	トラゼンタ (リナグリブチン) 	ザファテック (トララグリブチン) 
エクア (ヒルダグリブチン) 	テネリア (テネリグリブチン) 	オングリザ (サキサグリブチン) 	スイニー (アナグリブチン) 	マリゼブ (オマリグリブチン) 

毎日のむタイプ

通常1日1~2回、食前または食後

血糖値の上昇に合わせて、インスリンの分泌を促し、
血糖を上げるホルモンの分泌を抑えます。

週1回のむタイプ

週1回 1日1回
食前または食後

糖の吸収をゆっくりにする薬

ベイスン (ボグリボース) 	セイブル (ミグリトール) 
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------

小腸での炭水化物（糖）の消化や吸収を遅らせて、食後の高血糖を改善します。

通常1日3回、食直前(10分以内)

※低血糖の時は、砂糖ではなく、ブドウ糖の補給が必要です。

尿中にブドウ糖の排出を促す薬

スーグラ (イブラグリフロジン) 	ジャディアンス (エンバグリフロジン) 	デベルザ (トホグリフロジン) 	フォシーガ (ダバグリフロジン) 	ルセフィ (ルセオグリフロジン) 	カナグル (カナグリフロジン) 
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

通常1日1回、朝食前または朝食後

腎臓での糖の再吸収を抑えて、
血液中の余分な糖を尿から出します。

配合剤 異なる効き方をする2種類の成分が1つの錠剤になったもの

イニシク配合錠

メトホルミン
インスリンの効きをよくなる



アログリプチン
インスリンの分泌を促す



1日1回 食直前または食後

※ 検査等でヨード造影剤を使用する時は、原則として検査の2日前から2日後までの間はお休みが必要です。(緊急の場合を除く)

スージャヌ配合錠

シタグリプチン
インスリンの分泌を促す



イプラグリフロジン
尿中にブドウ糖の排出を促す



1日1回 朝食前または朝食後

エクメット配合錠HD/LD

メトホルミン
インスリンの効きをよくなる



ビルダグリプチン
インスリンの分泌を促す



1日2回 朝、夕

※ 検査等でヨード造影剤を使用する時は、原則として検査の2日前から2日後までの間はお休みが必要です。(緊急の場合を除く)

カナリア配合錠

テネリグリプチン
インスリンの分泌を促す



カナグリフロジン
尿中にブドウ糖の排出を促す



1日1回 朝食前または朝食後

メトアナ配合錠HD/LD

メトホルミン
インスリンの効きをよくなる



アナグリプチン
インスリンの分泌を促す



1日2回 朝、夕

※ 検査等でヨード造影剤を使用する時は、原則として検査の2日前から2日後までの間はお休みが必要です。(緊急の場合を除く)

トラディアンス配合錠BP/AP

リナグリプチン
インスリンの分泌を促す



エンパグリフロジン
尿中にブドウ糖の排出を促す



1日1回 朝食前または朝食後

配合剤 異なる効き方をする2種類の成分が1つの錠剤になったもの

リオベル配合錠HD/LD

アログリプチン
インスリンの分泌を
促す



ピオグリタゾン
インスリンの効きを
よくする



1日1回 朝食前または朝食後

グルベス配合錠

ミチグリニド
インスリンの分泌を
促す



ボグリボース
糖の吸収をゆっくり
にする



1日3回 毎食直前(10分以内)

※低血糖の時は、砂糖ではなく、
ブドウ糖の補給が必要です。

- ◇ 糖尿病治療の基本は、食事と運動です。
生活改善を行うことで、薬の効き目も得られやすくなります。
- ◇ 治療効果が適切に得られるよう、薬は飲み忘れなく正しく服用し、
上手に血糖値をコントロールしましょう。
- ◇ 飲み忘れた時やシックデイの時に飲み薬をどうするかは、薬の種類や患者さんによって対応が異なります。
事前に主治医の先生に確認しておきましょう。
- ◇ 飲み忘れることが多い、種類が多くて困っている等がありましたら、
一包化（他の飲み薬と一緒に1回分をまとめること）やお薬カレンダーの
使用等で改善できます。
また、状況によっては、お薬の種類や
飲み方の変更ができる場合もあります。
ご相談ください。

